

会派広報広聴活動報告書

大崎市議会 政務活動概要報告書
平成27年 9月10日 提出

1. 活動概要

会派名	日本共産党大崎市議会議員団
会員名	
活動項目	

2. 活動内容

摘要	<p>平成27年第2回定例会議会報告ビラの作成, 配布</p> <p>議会報告ビラ27,000枚を作成し, 古川の市街地を中心に直接配布し, 配布困難な地域は, 新聞折り込みを行いました。</p>
----	--

以上

台風 18 号関連水害問題

農水省・国交省・県への申し入れと結果について（報告書）

2015 年 9 月 18 日

日本共産党大崎市議会議員団

団長 小沢 和悦

9 月 10 日夜半から 11 日にかけての大雨による被害調査及び市民要望調査を踏まえ、16 日、緊急の対政府・県への申し入れを行いました。小沢和悦・鎌内つぎ子両議員が、高橋千鶴子衆議院議員、横田有史県議会議員らのご協力のもとに行ったもので、大崎市の被害状況と市民の切実な要望を国・県につなぎ、重要な回答も得ることができたと思ひ、以下報告します。

(1) 農水省の回答

- ① 水稲共済の追加申請は 20.21 日だけでなく稲刈り前であれば受け付けるよう指示を出す。
- ② 水稲共済の被害評価は、特例で品質評価を行う場合があるとされている。連合会の申請があれば可となる可能性がある。宮城県は合併し一つの共済になったので、その申請があれば当然検討する。
- ③ 被災し食用米としては問題のあるコメを「飼料用米」として扱うことは、一農家でのやりくりは問題ない。しかし、原則としては認めていないことなので農業再生委員会（※大崎市内では旧市町単位）内での調整については難しい。

（※飼料米は「経営所得安定対策」で「反当 8 万円」と言ったのだが農水省は「5.5 万円」とのこと）

- ④ 農業機械等被害支援については保険加入者との関係で問題がある。ただし、2 年ほど前、関東で大雪被害が出た時「被災農業者・経営体育成支援事業」を始めた。発動要件は「過去にないような災害」としているので被害状況を把握しての検討となる。（※例えば「激甚災害適用」など）
- ⑤ 大崎土地改良区管理の「水管理センター」のポンプは 2 階に設置しているが、ポンプ場が水につきりダメになった。復旧は現状復旧が原則だが、そうするか、パワーアップするか検討したい。パワーアップする場合は財務省の理解が必要である。

(2) 国土交通省の回答

- ① 渋井川等多田川ブロックの危険な河川の早急な改修整備について、宮城県から申し出があれば国としても協議し、必要な対応は考える。

- ② 師山配水機場について、増水で操作員が避難したというのは出張所長の誤認だった。

10 日 11:00 から待機、15:40 から排水開始、11 日 18:30 まで排水していた。補助員が 11 日 11:30 頃帰った。他の 2 人は 12 日 9:30 まで機場にいたと東北地方整備局から報告があった。

昭和 25 年、2 日間で 178 ミリの降雨があり水害が発生し、その規模に適應できるように造った機場だが、今回は 1 日で 192 ミリも降った。（処理能力は毎秒 6 トンの排水）

今後の対策は、今回の大水を排水できず、ヘリコプターなどによる住民避難が必要になった原因を解明し、しっかり検討する。

(3) 宮城県 三浦修一副知事

- ① 上京の結果を聞きたいというので、農水省・国交省への申し入れと回答結果を報告した。

特に渋井川等多田川ブロックについては県の鳴瀬川水系「治水安全度」評価で「10 年に一度程度の降雨に對應するようになっていない」河川なのに、防災上の監視体制を後退させ平成 13 年 7 月策定の整備計画を棚上げしてきたことを指摘。国交省は宮城県から申し出があれば協議に應じると答えたことを報告し、真剣な対応を求めた。

- ② 被災者生活支援制度を 32 都道府県がそれぞれ独自に策定しているが、宮城県にはそれがないことを指摘。宮城県としても、この際制度化し、今回の水害に對應するよう求めた。

三浦副知事は、関係部局に伝え、対応を検討する意向を示していた。

お会いし、対応していただいた関係機関の皆様

農林水産省

農村振興局 整備部防災課 災害対策室長	鈴木浩之様
農村振興局 防災課 際涯対策室課長補佐	東 崇史様
経営局 保険課 課長補佐 (技術総括)	吉武 朗様
経営局 就農・女性課 課長補佐 (経営体育成第1班)	土江 昇様
経営局 経営政策課 課長補佐 (経営安定対策第3班)	尾室幸子様
経営局 金融調整課 経営専門官 (経営金融グループ)	竹内健詞様
生産局 穀物課 水田農業対策室 課長補佐	長峰徹昭様
生産局 穀物課 豆類班 課長補佐	松下直史様
生産局 総務課 生産推進室 課長補佐	尾室義典様

国土交通省

水管理・国土保全局 防災課 災害査定官	辰野剛志様
水管理・国土保全局 河川環境課 企画専門官	時岡真治様
水管理・国土保全局 治水課 課長補佐	成田秋義様
水管理・国土保全局 砂防部 砂防企画課 課長補佐	野村康裕様
道路局 国道・防災課 (道路防災対策室) 課長補佐	今田一典様

宮城県

副知事	三浦修一様
	他 秘書課等職員

行程表

8:18 古川駅発新幹線乗車—東京駅下車—千代田線・国会議事堂前下車
—衆議院第2会館会議室
衆議院第2会館 会議室にて 11:00~12:00 農林水産省への申し入れ、懇談
13:00~13:40 国土交通省への申し入れ、懇談
14:00 千代田線乗車—14:36 東京駅発新幹線乗車—15:38 仙台駅下車
—仙台市地下鉄・勾当台下車—宮城県庁
宮城県庁 副知事応接室にて 16:45~17:00 頃 三浦修一副知事へ申し入れ、懇談

交通費 (一人当たり)

新幹線	古川駅—東京駅	11,230
	東京駅—仙台駅	11,000
	仙台駅—古川駅	1,620
地下鉄千代田線	東京駅—国会議事堂	170円×2 (往復)
仙台地下鉄	仙台駅—勾当台	200円×2 (往復)
	計	24,590円

2名分 合計 49,180円

会派広報広聴活動報告書

大崎市議会 政務活動概要報告書
平成28年 2月10日 提出

1. 活動概要

会派名	日本共産党大崎市議会議員団
会員名	
活動項目	

2. 活動内容

摘要	<p>平成27年第4回定例会中心の議会活動報告ビラ作成, 配布</p> <p>9月議会の報告ビラは, 9. 11豪雨の件もあり, 12月定例会と併せた議会活動報告ビラとして39, 000枚を印刷し, 市内河北新報, 大崎タイムスに折り込みを行いました。</p>
----	--

以上